

F Report

筑紫女学園報

No. 85

2015 February

2015(平成27)年2月3日



特集

幼稚園

筑女流・自ら考えることを促す教育③

教育学の視点から見た 人間力を育む幼児期の「遊び」

対談 牧野 桂一 (大学人間科学部教授/附属幼稚園 前園長) × 八谷 俊一郎 (附属幼稚園 園長)

その教育 しなやかで、ゆるぎない。
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園

検索



ここに響くことば

09

なにげない
言葉や姿や行いに
心の思いが表れる

まず、言葉について、人間は言葉を使ってコミュニケーションをとる動物です。

「ひと言の重さ」
ひと言で 愛が生まれ
ひと言で 愛を失う
ひと言が 人を殺し
ひと言が 人を救う

という聖句があります。「ひと言」がとても大切なものであることを教えてくれています。また、人が他人を見て、第一印象を何で決めるのか、それは服装・言葉遣い・しぐさと言われています。私たちが日頃、自分ではそんなに意識していなくても他人から見れば「気になる」ことなのでしょう。

仏教では行いを「身・口・意（しん・く・い）」の三業（さんごう）であるといえます。「身」とは身体で行う行いのこと。「口」とは言葉で行う行いのこと。「意」とは心の中で思う行いのことです。心の中で思ったことが口をつけて出て、口で出たことを行動に表すということなのです。だから一番大切なことは「心をはっきり清らかに保つこと」である

のです。

私たちは自分の機嫌が良いとき、調子が良いときには人に対してもやさしく、親切にできるのですが、機嫌が悪いとき、調子が悪いときにはなかなかそうはいきません。だから「心の思いが表れる」ということなのでしょう。しかしながら「あの人はいつも人に対してやさしく親切にしてくれる」とか「いつも明らかに挨拶をしてくれる」とか「電車やバスでさっと席を譲ることができる人」がいまもあふれているように、なぜそうできるのでしょうか。きっと心が豊かで、周りを想像できる人なのでしょう。

人は一人では生きていけません。様々な「縁」のなかで相互依存関係として存在します。だからこそ、自分の心を豊かに育て、周りのことを自然に考えることができる人になりたいものです。それが広がっていくことによって、お互いが気持ちよく生活できるのではないのでしょうか。「中学校・高校宗教部

この内容は、高校・中学のWebサイト「今月のことば」に掲載されています。「今月のことば」とは、毎月はじめ、高校・中学の全校生徒に配布している「ここに響くことば」です。皆さまもぜひ一読ください。【アクセスバナー】 <http://www.chikushi.ac.jp/kotoba/>

Contents

Special Issue

- P2 特集／幼稚園 筑女流・自ら考えることを促す教育③
教育学的視点から見た人間力を育む幼児期の「遊び」
園長&前園長対談・牧野 桂一（大学人文学部教授/附属幼稚園 前園長）×八谷 俊一郎（附属幼稚園 園長）

CJ People

- P7 やるネ! 筑女生
大学/カンボジアの地雷除去ボランティアに取り組む大学生(古賀 麻理子さん/文学部アジア文化学科3年)
中学/JICAエッセイコンテストで最優秀賞を受賞し、再びベトナムへ(渡邊 顕子さん/中学3年)
- P9 キャンパス通信 少数精鋭でがんばる「バスケットボール部」
- P10 がんばる! クラブ ~先生に贈るメッセージ~ 高校/コーラス部
クラブ活動の成果 2014.9~2015.1
- P11 大学・短期大学部「就職の筑女」・ふくおか証券株式会社 中壽賀 郁名さんの巻
- P12 中高OGが語る私の夢への歩き方「進学の筑女」・佐賀大学 医学部4年 鹿野 恵さんの場合
- P13 幼稚園Presents「子育て“ほっと”コラム」・親子いっしょに自然と触れ合うことの大切さ(幼稚園/片岸 祐子教諭)
親子で読みたい!「ここに響く絵本」・「きよたいな きよたいな」(保護者 板阪 幸恵さん)
- P14 卒業生からの手紙・姫野 知美さん (大学OG)
支えびとさん、登場! 武田 陽子さん (中学校・高校/購買部)

CJ Topics

- P15 CJ ホットピックス ~注目の学園ニュース~
大学/学生の若さと知識を生かした地域連携活動
- P16 CJ フォトピックス ~写真で見る筑女生の「今」~

Special Topics

- P19 スペシャルトピックス/高校
学外研修でグローバルな視点を養う高校生たち

CJ Academy

- P21 生涯学習のススメ・公開講座レポート

CJ Information

- P22 学園中期計画「筑女プラン2017」進捗状況報告
- P23 プレイバック筑紫女学園2014
筑紫女学園からのお知らせ

Report No.85
2015 February

CJ Reportの読み方

各学校のマークについて

学校ごとに以下のマーク(色分け)を施しています。



上記以外の記事の色分けは任意で行っています。

表紙のこと

今回の表紙は、幼稚園の年中発表会のひとコマです。衣装も舞台もすべて手作り。園児たちと裏方の先生方の熱演に、清員御礼の会場から大きな拍手が送られました。



「CJ Report (筑紫女学園報)」のバックナンバーはWebサイトで!

学園トップまたは、各学校サイト下部のリンクから、本誌のバックナンバーをご覧ください。



特集／教育学的視点から見た人間力を育む幼児期の「遊び」

少子高齢化や核家族化をはじめとする社会の変容を背景に、幼稚園を取り巻く環境は急速に変化しています。そのような中、今回は筑紫女学園大学短期大学部附属幼稚園(以下、筑女幼稚園)が考える「学び・しつけ・遊び」について、教育学の視点から、筑紫女学園大学人間科学部の牧野桂一教授(筑女幼稚園前園長)と筑女幼稚園の八谷俊一郎園長との対談を通して検証します。



特集 幼稚園

筑女流・自ら考えることを促す教育③

教育学的視点から見た

人間力を育む 幼児期の「遊び」

対談

牧野 桂一 前園長
(筑紫女学園大学人間科学部教授)

八谷 俊一郎 現園長
(筑紫女学園大学短期大学部附属幼稚園)



自発的な遊びが生まれる環境で「今」を大切に、明日へと伸びる力を

**溢れる情報と選択の本
本当に必要な教育とは**

牧野 昨年4月に園長をバト
ンタッチしましたが、その後、
園での毎日はいかがですか？

八谷 子どもたちが、都会に
いるのに予想以上に伸び伸び
としているので驚きました。み
んな毎日、自分の興味、関心が

ある遊びや活動を存分に楽し
んでいます。おかげで私も体
力勝負。園長室を出て、子ど
もたちとの関わりを大切にし
ています。

牧野 当時私が感じていたこ
とは、幼稚園を取り巻く環境
が急速に変わってきたという
ことです。インターネットの普
及に伴い様々な情報が氾濫

し、子育てに対して過敏になっ
ている保護者も少なくありま
せん。英語や漢字の勉強を早
くから始めた方がよいので
は？どうやって個性を伸ばし
たらよいか？など。

八谷 核家族化がさらに進
み、昔のようにおじいちゃん、お
ばあちゃんと同居している家
庭はわずかですし、ご近所付

き合いも希薄になっています
から、子育てに不安を持たれ
ている方が多いのではないで
しょうか。テレビでもインバク
トのある教育が話題にされる
傾向にあります。一方、子ど
もには少子化の影響が見られ
ます。兄弟が多い子は家庭の
中で揉まれていますが、一人っ
子は競争の中で育っていないの
で、入園当初は自分の思い通
りにならず、わがままに見え
てしまうこともあります。

牧野 子どもは自然の中で自
由にさせれば不思議なくらい
すくすくと伸びるものなので
す。自然が持っている力、そし
て子どもの力を信じてほしい
と思います。事実、卒園生の親
御さんから、「自然と思いつき
り遊べる筑女で良かった。今、
ちゃんと力を発揮しています」
とよく伺います。それは、根幹
となる人間力が培われた証な
んです。

八谷 卒園した子どもたち
から、幼稚園に戻りたいとい

話をよく聞きますが、単に遊
びたいのではなく、園で感じた
原体験をもう一度味わいたい
という気持ちがあるのだと思
います。

牧野 子どもは自分の発達
をよく知っていますし、発達に
とつて一番必要なものが一番
面白いのです。それは人間の
本能なんです。

**自然での遊びを中心に
教育学的理想を实践**

八谷 自然の中で遊ぶことを
教育学の視点から見ると、ル
ソー¹⁾の教育論は、現代にも通
じることであり、本園にとつて
は不易の部分だと思っていま
す。

牧野 同感です。児童の本性
を尊重して、自由で自然な成
長を促すことが教育の根本で
あると最初に主張したのはル
ソーで、端的に言うると、「自然に
還れ」と言っています。当時のフ
ランスは、あまりにも大人が手
を加え過ぎ、子どもを子ども
として育てるのではなく、「小
さな大人」を育てるようなこ
とになっていました。しかし、そ
れでは本当の人間は育たない。
そういうことを考えると、現
在、本園が実践しているやり

今回の対談を
読み解く

Keywords

※1【ルソー】

ジャン・ジャック・ルソー
(1712～1778年)
ジュネーヴ共和国生まれ。主に
フランスで活躍した哲学者。学
問・芸術の進歩と道徳の純化
／腐敗の関係に言及した『学問
芸術論』(1750年)、人間社
会の不平等の起源を探った『人
間不平等起源論』(1753
年)、個人のための国家の在り
方を論じた『社会契約論(民約
論)』(1762年)の他、子ど
もの内発性を社会から守ること
に主眼を置いた教育論『エ
ミール』(1762年)を著作。
『エミール』はカント哲学やトル
ストイの著作にも影響を与えて
いる。

※2【フルガム】

バートフルガム(1937
～)。アメリカの著述家・哲
学者。工事入夫、新聞配達、カ
ウボーイなどを経て大学に進
学。卒業後はIBM社、美術・
哲学教員などに勤務。「人生に
必要な知恵はすべて幼稚園の
砂場で学んだ」(1990)を皮
切りに、身のまわりの何気ない
ことから人生の真理を導き出
す著作で次々とベストセラーを
生み出している。





「都会の中にこんな森があるの？」と驚く保護者も多い「響流（こへい）の森」

方は、自然に還すという意味でも、極めて教育学の本流ですね。幼稚園発足時から、遊びを中心に子どもの成長を促している教育は、教育学の視点から見て、まさに理想的です。

八谷 本園は幸いなことに、都心にありながら、「響流（こへい）の森」や「百年の森」という素晴らしい自然環境に恵まれています。その活用により、かなり理想に近い教育環境が整えられているのではないのでしょうか。

牧野 園長時代は子どもたちと植物の話をよくしました。門から園舎への坂道にタデ科のイタドリが自生しているでしょう？ それを見て、子どもたちが

「なんでイタドリっていう名前なのかなあ」と言うので調べて、後日、「昔、旅人が疲れた足にこれをつけたら痛みが取れたからイタドリっていうんだよ」と話すと、とても喜んで、「他の植物のことももっと知りたい！」って言うんです。子どもたちにとつて植物は友達。勉強として単に名前やその由来を覚えるんじゃないんです。友達のことだから知りたいんだと思います。

八谷 先日、一人の園児が似たような花を2種類私のところへ持ってきて、「これは茎のところがこうなっているから」「こちがこが」と違いや名前を教えてくださいました。森で見つけたのでしよう。そして興味を持って自分で調べているんです。「植物博士だね」と言いながら、自然の中での自由な遊びが、自発的で豊かな学びにつながっていくことを実感しました。

徹底的に重ねた経験は実となり人生の基盤に

八谷 本園の教育は、子どもたちの本能のままに、自発的な遊びに思いっきり没らせるのが大きな特徴で、昭和47年の開園当初からずっと引き継がれています。

Point!	
子どもたちの興味や成長度合い、体調に合わせて、フレキシブルに予定を調整しています。自主性に応じた対応を可能にするため非常勤教諭も多く配置しています。	
A組	B組
8:45 ○登園（徒歩・バス・自家用車） 着替え、荷物の整理	
9:50 ○全員登園 園児一人ひとりのその日の様子を確認。体調や興味の対象に応じて、一日の活動内容を調整します	
○クラス毎の活動 ◆竹馬乗りの練習（担任教諭・非常勤教諭） 先日から始めた竹馬乗りの練習に夢中朝から竹馬の練習をしたい！とやる気なので、この時間に設定 一人ひとりの段階を把握しながら実施	○自発的な遊び ◆響流の森遊び（担任教諭） 絵本に登場したどんぐりや動物に興味を持ったので、実際に森に入って探すことに ◆教室・園庭・森での遊び（非常勤教諭） （砂場、木登り、三輪車、ボール遊びなど） 拾ってきたものをみんなで調べたり、互いに教え合ったり
10:00 ○自発的な遊び ◆竹馬乗りの練習（担任教諭） 引き続き、竹馬乗りの練習 ◆教室・園庭・森での遊び（担任・非常勤教諭） （折り紙、絵本、ごっこ遊びなど）	○クラス毎の活動 ◆竹馬乗りの練習（担任教諭） A組に刺激されて、やる気に！ A組の上手に乗れる子に教わりながら一緒に練習
11:30 ○昼食 クラス毎で、活動内容によって時間を調整します	
12:00 ○自発的な遊び ◆教室・園庭・森での遊び （砂場、木登り、三輪車、ボール遊びなど）	○自発的な遊び ◆教室・園庭・森での遊び （カプラ、ブロック、絵本、散歩など）
13:00 ○帰りの集まり わらべうた、ゲーム、絵本の読み聞かせなど	○帰りの集まり 次の日の活動について園児たちと話し合い
○礼拝 みんなで手を合わせて、一日見て下さりありがとうございます気持ちで、みほとけさまにご挨拶をします	
14:00 ○降園 一日どんな風に過ごしたのか、保護者の方へ担任より一言ずつお話しします	
16:00 ○終礼 それぞれの先生がクラスの進行状況、園児の気になったことを報告し、次の日の予定を計画します	
自発的な遊び	子どもたちがやりたい遊びを十分に楽しみ、気持ちが満たされてから、集団の活動へと移すための時間。自発的に遊びが始められる素材や環境を準備します（カプラ、絵本、工作、遊具など）。
クラス毎の活動	行事や目標に向けてクラス全員で取り組む時間。一日の中でそのクラスにぴったりの時間で設定し、その日だけでなく、1週間の中で調整できるようにします。
帰りの集まり （クラスで過ごす時間）	みんなと一緒に「楽しい！」を共有したり、今日の振り返りや明日の予告など、次の日への意欲がわくような話し合いをする時間。

子どもは自然の中で自由にさせれば、すくすくと伸びるものなんです。（牧野）



牧野 「思いっきり」というところが大事なんです。徹底的に自由にしないと偏った本能になつてしまふからです。徹底的に体験させれば、そこから学んだものは自ずと自分のものとして体系化されていきますが、つまみ食いの体験では実になりません。また、大人があしろうしろと指示や規制をした人為的な遊びだと歪みが出てしまう。目先だけの仕掛けもいけません。自然ほど素晴らしい仕掛けはないので、それを

邪魔しないことが大切です。**八谷** そうした遊びと学校の勉強は、何の関係もないように思えますが、自然の中で大きな木や小さなどんぐりに触れることで大きさや重さを体感し、図鑑や絵本を見ること

で言葉や色彩に触れ、生き物と接することで生命とは何かを考える。実は、それぞれが算数、国語、理科、社会などの科目に繋がる根底の体験になっているのです。逆に遊んでいないとそれが分からない。

牧野 アメリカの作家であり哲学者としても知られるフルガム[※]の『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』という著作があります。



遊びの中で手を動かし、頭を使い、汗をかきながら、トータルで人間として成長していくことを表しています。子どもたちは、幼稚園での様々な遊びを通して、言葉が豊かになり、自然の美しさや不思議に気づいたりしながら、その後の教育の基盤を作っていくのです。

八谷 そういいう環境の中で、毎日、子どもが十分にエネルギーを出しきって、発散して、生活することが大事ですね。かけがえない幼児期を精一杯、目一杯に生きることが大切なんです。そういうことを徹底的にやりましょうというのが本園の教育。

牧野 ルソーの書いた教育論「エミール」の中で、農夫のように働き、哲学者のように思索すると人間の育成に必要なことを表現していますが、目一杯に動いて、しっかり考える。本園の子どもたちは、まさにその言葉通りですね。

子どもを真ん中に今を最も良く生きること

牧野 教育の思想的源流がルソーならば、実践的源流は、ペスタロッチです。そして、それ

を幼稚園で実践したのが、ドイツの教育家で幼稚園の創始者であるフレイベル^{※3}。日本の幼児教育における基礎的な理論は、倉橋惣三^{※4}によって集大成され、今の原点ができたのは、昭和50年代のことでした。子どもに関して、倉橋氏が信仰していたキリスト教は、本園の教育の根幹である親鸞聖人のみ教えととても似ています。それは、子どもが中心、真ん中に置いて考えていこうというスタンスであり、人為的な行為を排し、宇宙のあり方に従って自然のままにといい「無為自然」の思想です。

八谷 本園のモットーは、「子どもが一番。子どもが真ん中。子どもに真すぐ」ですからね。幼児教育の原点を真に理解して堅持しながら、本園としての原点になるものを作り上げて今日があるわけです。また、文部科学省の幼稚園教育要領で示してある「子どもの最善の利益に配慮する」「園生活を通して生きる力を培う」という指針とも非常に接点がありますね。

牧野 近代教育の系譜の中で、正しく引き継いで発展させてきたと言えるでしょう。国が定めている保育の目的



Profile

牧野 桂一 【まきの・けいいち】

●筑紫女学園大学人間科学部教授。大分大学教育学部卒。1970年4月より大分県内の小学校や養護学校で教鞭を執り、大分県立新生養護学校校長などを務める。1985年からは大分大学教育学部の講師も併任。2008年4月から筑紫女学園に奉職。大学文学部および人間科学部の教授を務め、2013年には筑女幼稚園の園長に就任。2014年4月、現職に。



想像力を磨く教育玩具のカプラで、日々いろんな作品を作り出しています。

は、「今を最も良く生きる。こと」。つまり、将来ばかりを見て、今を犠牲にする保育ではダメなんです。やはり、子どもがやりたいことをしっかりとさせてあげる、これに尽きます。この時期のしつけは、「自分がされて嫌なことはいない」これだけでいいと思えます。年長になると、小学校へ移行することを意識して、ある程度時間を区切ったり、発表や司会なども実施していきます。

八谷 子どもたちが自発的に、そして精一杯遊ぶためには、それをうまく導く先生の存在が不可欠です。周りから見ると、先生方は子どもたちと一緒に遊んでいるだけのように見えるかもしれませんが、子ども一人ひとりが発達に必要な経験が得られるように、配慮しながら次の行動を生み出す手立てをとっています。

牧野 先生方は、自発的な興味や関心を大切にしながら活動しやすいように、工夫していますね。虫や植物に触れた後は目につくところに

自発的な興味を促す 筑女幼稚園の教育体制

図鑑をさり気なく置いたり、絵を描いて貼ったりして、半歩先へ進めるように導いています。

「遊ばせる」ということは実はとても難しいことなんです。時間を区切り、この時間はこの遊びをしましょうと大人の都合で一律に教える方がむしろ簡単。それよりも、個々の子どもが持っている能力を多角的に伸ばす方が難しい。

八谷 子どもたちが自発的に遊ぶためには、先生は一人ひとりの子どもがどんな個性を持ち、どんな成長段階で、どんな遊びをしているかを全て

子どもが一番。子どもが真ん中。子どもに真すぐに、接しています。(八谷)



※3【エミール】

ルソーが教育を施した「エミール」という一人の子どもの生涯から結婚するまでを題材に、教育の方法について論じた書物。知識を与える前に、その道具である諸器官を完成させよ。感覚器官の訓練によって理性を準備する教育を消極教育と呼ぶ」と述べ、子どもの頃には考える力(理性)を育てる前に、感覚器官を育てることが大切と説いた。

※4【ペスタロッチ】

ヨハン・ハインリッヒ・ペスタロッチ(1746年～1842年)。スイスの実践教育家。チューリッヒ大学卒業後、農場経営を経て、孤児や貧困の子どものための学校を設立。1800年、スイス政府の依頼で全寮制学校の校長に就任。初等教育において「基礎的な内容から高度な内容に移行していくこと」について言及した直観教授・労作教育の思想が、以降のヨーロッパにおける教育の在り方に大きな影響をもたらした。

※5【フレイベル】

フリードリヒ・ヴィルヘルム・アウグスト・フレイベル(1782年～1852年)。ドイツの教育学者。ペスタロッチの初等教育論に啓発され、幼児教育に応用・展開。幼児の心の中にある神性をどのように伸ばさせるかに力点を置きながら、幼児教育の方法論確立に一生を捧げた。幼稚園(Kindergarten/Kinder-garten)という言葉の造語や、園に園庭と花壇を設けること、教育玩具の始まりなどはフレイベルのコンセプトによるもの。

筑女幼稚園の主な年間行事

筑女幼稚園の行事は、それぞれ実施する意味と繋がりがああります。季節を感じ、感謝の気持ちを培い、命の触れ合いを大切に行事がいろいろあります。

4月

たけのご振り・たけのごパーティー

山で春のおいを感じ、自ら採ったたけのごを自ら調理して、食べる喜びを味わいます。



5月

バケツ稲作り・芋の苗うえ

毎日当たり前に食べている食べ物から育てることを経験します。



7月

みそ作り

3ヶ月寝かせて11月の新米パーティーのときに味噌汁にして食べます。



8月

野菜作り

キュウリ、トマト、ナスなど、野菜のにおいやトゲに触れることも新鮮な経験に。



10月

芋の収穫

5月に植えた芋を収穫、焼き芋パーティーはみんな大好きなイベントです。



11月

稲刈り・新米パーティー

これまでお米ができるまでを振り返りながら、一粒一粒の大切さを味わいます。



12月

もちつき

普段、幼稚園にはあまり来られないお父さんが活躍するイベントです。



2月

竹馬披露会

日ごろの成果を発揮し、みんな誇らしく、達成感を味わいます。

3月

おわかれパーティー

1年間一緒に過ごしたお友達。卒園後も繋がりを大切にしています。

学年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
年少	お正月の行事 おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞	おもちつき お雑煮作り おせち作り お年玉作り お正月飾り お正月参り お正月遊び お正月絵画 お正月劇 お正月歌 お正月舞

年間の教育課程を元に、月計画、週計画を作成しています。



Profile

八谷 俊一郎【はちや・しゅんいちろう】

●大学短期大学部附属幼稚園園長。福岡教育大学教育学部卒。1972年4月に春日市内の小学校に勤務後、外務省派遣で香港や上海、福岡教育大学附属小学校で教鞭を執る。1995年から2009年3月の退職までに、3校の公立小学校校長を歴任。この間、福岡県の教育行政に10年間携わる。2010年9月から筑紫女学園に奉職し、2014年4月、現職に。



特任教諭の青沼典子先生が子どもたちと40年かけて選んできた絵本が並ぶ「青沼文庫」。

把握していなければなりません。そのために本園では、毎日終礼の時に先生方が子どもたちの情報を交換し、共有しています。自由なだけに、子どもたちといろんな先生が関わって合っているので、自分のクラス以外の子どものことも把握してい

るんです。だから、行動の予測がつき、自然の中で遊ばせても大きなケガをしないんです。牧野 そうですね。本当に子どもが危険なときに、先生の手がサツと出ますから。素人が見たらケガをしなかったですけど、なぜそこに先生が

いて、なぜ手が出せたのかが重要。まさに名人芸だといつも感じしていました。八谷 そうした考えを具現化するものとして、年間指導計画書を作成し、それを月や週の計画書に落とし込んでいくのですが、日々は非常にフレ

キシブルである点も本園の特長でしょう。1日の時間割がないので、ともすれば無計画に思われがちですが、そうではない。大枠として1日の計画はあり、今日の動きが悪かったら、翌日の計画を修正するという細やかな対応をしています。子どもを中心にリズムや動きを大切にしている。お子さんの入園を希望される保護者の方に話を伺うと、多くの方がそこにも大きな魅力を感じていらつやいます。指示、命令、禁止がない本園の教育は、楽しい代わりに難しく、先生方は大変ですが。

牧野 先生だけではなく、本園にたくさんいらつやる経験豊富なベテラン先生や保護者の方のサポートもとても重要なんです。子どもたちは、励ましてくれたり、褒めてくれたり、一緒に喜んでくれたりする人がいたら、更に夢中になるものです。周りの大人はそういう役割を果たしたいですね。

八谷 人間力、つまり生きる力の基礎を培うこの大切な時期に、日々の遊びをさらに安全にサポートするため、本園では、ケガへの対応や危機管理マニュアルなどをまとめた「保育マニュアル」の作成も始めました。今後、子どもたちの「今」を何より大切に教育に取り組みでいきたいと考えています。

※6【倉橋惣三】

くらはし、そうぞう(1882年〜1955年)。日本の児童心理学者。日本保育学会初代会長。東京帝国大学大学院児童心理学修士後、東京女子高等師範学校講師(後に教授)。東京女高師附属幼稚園の主宰を長年務め、明治時代以来、日本では形式化してしまつたフレール主義を改革。「誘導保育」を保育観の中心に据え、子どもたちには自発心と心情に重きを置き、教員がそれを誘い、促し、助けることが大切であると説いた。



やるネ! 筑女生

The Wonderful Behavior
of CJ-Students

勉強をはじめ、さまざまなことに積極的に取り組む筑女生の活躍ぶりを紹介するこのコーナー。今回はカンボジアにおける地雷被害0を目指してボランティア活動に取り組む大学生と、ベトナムに赴いて学んだことをまとめたエッセイがJICA主催のコンテストで最優秀賞を受賞し、再び同地を訪れた中学生にご登場いただきました。



カンボジアから地雷被害者の女性を招き、大学内でパネルディスカッションを開催(中央で質問をする古賀さん)。

01 【大学】一人でも多くの人に、カンボジアの現状を知ってほしい

古賀麻理子さん(大学・文学部アジア文化学科3年/香椎高等学校出身)

【悪】 魔の兵器「地雷」です。内戦から18年経った今でも、カンボジアには400〜600万個の地雷が埋まっています。毎年20人以上の方が被害にあっています。この事実を知っている人がどれだけいるでしょうか？ そういふ私も数年前までは知らない人の一人でした。

私は今、CVC(カンボジア・ボランティア・チャリティ)というグループに属し、「カンボジアの地雷被害0」を目指して写真展や講演会の開催、募金活動など様々な活動を行っています。カンボジアの地雷被害のことは中学の頃からテレビなどで知ってはいましたが、そのために何か行動を起こしたことはありませんでした。大学に入学し、友人に誘われたのがきっかけでCVCに参加しました。最初は、募金活動に参加するだけでしたが、活動するうちに地雷被害に関する知識も増え、カンボジアからの留学生や、現地を足運びカンボジアの現状を自分の目で見てきた人たちとの出会いもあり、募金活動だけでなく、もっと多くの人にカンボジアの現状を知ってもらいたいと考えようになりました。

【活】 活動を通して、一つの講演会、一つの写真展を開催するために、どれほどの時間とどれほどの人の力が必要なのかを自分たちで開催したことによって学ぶことができました。また、募金活動のとき、励ましの言葉をくださる方もいれば、偽善とか、よその国を心配している場

合じやないと言われてしまうこともありました。どうしてもしていない人に、カンボジアのことを知らない人にそんなことを言われなければならぬのかと、腹を立てた。しかし、私たちがまたまたカンボジアの現状について知る機会があっただけで、知る機会がなければ同じようなことを感じていたかもしれません。世界中で被害にあっている人たちのことをもっともっと多くの人に知ってもらうために、さらに熱心に様々な活動に取り組むようになりまし

と、様々な人のことを考えるようになりました。これまで活動をする中で、他にも多くのボランティア団体があることを知りました。もっと勉強していろんな活動に参加したいと思っています。今年生で、就職活動が目前です。不安はありますが、CVCでの経験は私にとって心強い強みになると思います。就職してからも、ボランティア活動を続けていきたいです。

私が筑紫女学園大学のアジア文化学科に入学したのは、韓国語や中国語ができたから就職に役立つかなといった簡単な理由でした。実際に入学してCVCの活動に出会い、語学だけではなく、世界中で起こっている様々なこ



CVCのメンバーとの募金活動の様子。



02 【中 学】 マングローブへの誓い。 ベトナムで実感した体験から学ぶことの大切さ

渡邊 顕子さん 中学3年 / 天拝小学校出身

「四」 十年前、ベトナム戦争でアメリカ軍がまいた枯れ葉剤によって、

97パーセントのマングローブが枯れたのです。皆さんが見ている森は、地元の人が三十年かけて再生しました。「生ま

れた村で幸せに暮らしていた人々の頭上に、枯れ葉剤はまかれたのだ。ガンになったり、奇形の子どもが今も生まれ続けたりしている現実を、私はあまりにも知らなかった。翌日植林する場所へと向かうと、不自然にその一帯だけ泥が広がっている。エビの養殖池を作るために次々に森が破壊され、捕れなくなると放置されている、という。養殖エビの三割を日本が消費していると聞いて、私ははっとした。私自身が、森を破壊した一人だったのだ。戦争を有利にするため森を破壊した人間。安いエビを手に入れるために、再生した森を再び破壊したのも人間。しかもそこに、自分自身が関わっていることを私は初めて知った。



大切なことを教えてくれたマングローブ。



ハノイを訪問した中学生9名(上段左から2番目が渡邊さん)。

内戦。紛争。暴動。毎日目にする報道の向こう側に関心を持ち、世界で今、何が起きているのかを知ること。そして、そこに私自身が関わっているかもしれないと自身を省みること。その大切さをマングローブが教えてくれた。目をそらさず、人間が生き

ている限り繰り返し返してしまいう過ちに向きあい、真実をみつめる勇気を私は持ちたいと思う。「あなた達が教えてくれたこと、決して忘れないよ。」私はこの夏、マングローブに誓った。

これは、JICAエッセイコンテストで、最優秀賞、文部科学大臣奨励賞を受賞した作品の一部です。私は二昨年の夏休み、「西日本新聞ハチドリ隊」の隊員として、ベトナム南部のホーチミンに派遣されました。そして、その時に学んだことをエッセイに書

き、JICAエッセイコンテストで最優秀賞を受賞し、再び海外研修としてベトナムへ行く機会を与えられました。

「もの見方」を 変えることに思い至った 再訪問

染症や衛生上の問題もあります。これらも見方を変えると、家族の絆の強さなど、日本人が学ぶべきことも多くあります。互いに相手の良さを学ぶことの大切さを知りました。

今回の研修を通して、私
が実感したことは「体験から学ぶことの大切さ」です。また、そこで出会った仲間からも積極性や行動力など多くの刺激を受けました。これからも周囲の人々や日々の体験から多くを学び、一歩一歩成長していきたいです。



バワマイ病院では、患者さんと家族が溢れかえっていた。



The Report of Dazaifu Campus

キャンパス 通信

vol. 09

大学・短期大学部

大学・短期大学部でアクティブに活動する学生たちを紹介するこのコーナー。今回はバスケットボールでがんばる学生からのレポートです。



現在部員は7人。新入部員大募集です!!!

とに挑戦することによ

に遊びにきてください!

は、チームのまとまりがなくて一勝もできず、練習してもなかなか上手く行かずに悩む時期がありました。しかしチームメイトの母校に行ったり、新しいことに挑戦することによ

は、県リーグやインターカレッジ予選、九州リーグなどに出場しています。現在、部員は7人しかいませんが、そのなかでも自分たちができることを精一杯し、楽しみな

は、試合数も増えていきます。活動はバスケットだけではなく、筑紫祭で模擬店を出しました。地鶏の炭火焼きは、あつという間に売り切れて好評でした。バスケットは

は、基礎を見直すことによつて、守れる範囲も広くなりました。そのため、勝てなかったチームから、少しずつ勝てるチームになってきて、最近では

は、また、デイフェンスの面でも基礎を見直すことによつて、守れる範囲も広くなりました。そのため、勝てなかったチームから、少しずつ勝てるチームになってきて、最近では

は、また、デイフェンスの面でも基礎を見直すことによつて、守れる範囲も広くなりました。そのため、勝てなかったチームから、少しずつ勝てるチームになってきて、最近では

ギリギリの人数ですが、
楽しみながら日々精進し、
少しずつ力をつけています

錨 瑞貴さん
(大学 人間科学部 人間形成専攻 初等教育コース 2年 / 鹿児島南高等学校 出身)

私 たちはバスケットボール部は、主に月曜日、水曜日の放課後と、土曜日の午前中に活動しています。年間を通して大きな大会は、県リーグやインターカレ

2014.9~2015.1

水泳部

- 【福岡県高等学校選手権新人水泳競技大会 兼 末弘杯全九州高等学校選手権新人水泳大会予選会】
- 9月20、21日・福岡市
 - 200m自由形・決勝6位 二宮
 - 100m自由形・決勝7位 二宮 (九州大会出場標準記録を突破)

テニス部

- 【福岡県テニス新人大会中部ブロック予選地区大会】
- 9月20日~28日・福岡県
 - シングルス・3位 福井綾乃
 - ダブルス・1位 福井・矢野 ● 団体・2位
- 【福岡県テニス新人大会県大会】
- 10月11日・12日・福岡県
 - シングルス・3位 福井綾乃 ● 団体・ベスト8

剣道部

- 【中央区剣道大会】
- 9月23日・福岡市
 - 団体・1位 筑紫女学園A・2位 筑紫女学園B
 - 個人・1位 石村千夏
- 【福岡県高校剣道新人大会 中部ブロック予選】
- 11月1日・福岡県 ● 団体戦・3位(県大会出場)

その他

- 【第28回高文連書道部門授業作品展】
- 優秀賞 土生真梨恵 関屋彩帆 篠田芽似 豊田唯子
- 【第18回ボランティア・スピリット賞】
- コミュニティ賞 森美月

中学校

音楽部

- 【第69回九州合唱コンクール】
- 9月13日・大分県 ● 銀賞

卓球部

- 【福岡市中学生学年別卓球大会】
- 10月5日・福岡市
 - 1年生の部・ベスト32 吉田侑里香
- 【新人戦卓球大会 中央区・城南区 個人戦】
- 11月22日・福岡市
 - 個人戦・ベスト8 一木明日香 磯崎みのり
- 【新人戦卓球大会 中央区・城南区 団体戦】
- 12月7日・福岡市
 - 団体戦・4位

剣道部

- 【第41回福岡市中央区剣道大会】
- 9月23日・福岡市
 - 団体戦
 - 1位 筑紫女学園B・2位 筑紫女学園A・3位 筑紫女学園C
 - 個人戦 有段の部・1位 井上千紘・2位 上田菜月・3位 岩下香澄 小畑友希
 - 無段の部・1位 小金丸理世・2位 林結衣・3位 竹下果歩 龍那津子

【第31回福岡市中学校新人剣道大会】

- 11月8日・福岡市 ● 団体戦の部・3位(県大会出場)

【第54回福岡市中学校総合体育大会】

- 12月6日・福岡市
- 団体総合優勝 団体フィギュア・優勝 中島映美乃
- 個人(フィギュア部門)1級の部・1位 小松裕里子
- 個人(フィギュア部門)5級の部・2位 須山涼乃

【第47回宮地嶽糸幡稲穂大会】

- 福岡市教育委員会賞 安井慶子

【JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2013】

- 文部科学大臣奨励賞 渡邊顕子

【第54回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト】

- 公益財団法人安達峰一郎記念財団賞 渡邊顕子

【第61回日本書展】

- 特選 大坪幸奈・木戸晴香・中村ふく

【第28回福岡市地下鉄乗車マナーポスターコンクール】

- 入賞 茨木葉月

【第12回「水をたいせつに」絵画コンクール】

- 入賞 佐藤未羽

【第34回全国中学校人権作文コンテスト(福岡県大会)】

- 奨励賞 福岡人権擁護委員協議会奨励賞 高岸李佳

がんばる! The Excellent Club Activities クラブ

vol. 25

高校/コーラス部

～担当の先生に贈るメッセージ③～



これから一生懸命ついて行くので、
ビシバシ指導してください!!!



ダンスを取り入れた練習はとてもユニーク。

クラブ活動でがんばる生徒から担当の先生にあてたメッセージを紹介するこのコーナー。今回は高校コーラス部の部長さんからメッセージが届きました。

家族のような良い雰囲気の中 よりよいハーモニーを作るべく 練習に励んでいます

針間美佑さん(高校コーラス部長・高校2年/筑紫女学園中学校出身)

私たちコーラス部のモットーは「歌で想いを相手に伝えたい」です。これまでは、紫苑祭でのミュージカルがメインだったので、2年前からコンクールへの出場を目指し、基礎的な体づくりから行っています。

顧問の栗田佳奈先生、副顧問の宮園玲奈先生は、私たちにとってお手本であり、家族のような存在。厳しい時は厳しく、優しい時は優しく、いつも温かく見守り、熱心に指導してください。

栗田先生は、常に部活の事を考えてくださいます。そして何事にも全力で熱い!一方で、天然だったり、怖かったり、優しくったり、可愛らしい一面もあり、一言では言い表せないほど沢山の魅力を持ったとても素敵な先生です。

宮園先生は、大会の後に誰よりも先に「よかったよ」と声をかけてくださいます。

仲間を大切に、
ばに響く合唱を!



栗田佳奈先生(顧問)

これから人を
幸せにするような
歌を歌ってね!



宮園玲奈先生(副顧問)

練習の後も「前より良くなったよ」と励ましてくださるとも優しい先生です。先生方の温かさや厳しさがあるからこそ、今のコーラス部には家族のような良い雰囲気があるのだと思います。その雰囲気を大切にしたい。よりよい筑女コーラス部のハーモニーを作ろうと練習に励んでいます!

クラブ活動の成果

高等学校

文芸部

【第18回福岡県高等学校文芸コンクール】

- 11月9日・筑後市
- 文芸部誌部門・最優秀賞『いさらみ』第56号 ※10年連続受賞
- 散文部門・優秀賞 東千尋・奨励賞 吉原菜穂
- 詩部門・優秀賞 吉田和泉 ● 短歌部門・優秀賞 吉田和泉
- 俳句部門・最優秀賞 麗秋伊・優秀賞 吉田和泉

【第29回全国高等学校文芸コンクール】

- 12月13日・東京都
- 文芸部誌部門・優秀賞・一ツ橋文芸教育振興会賞『いさらみ』第56号
- 小説部門・入選 吉橋美香・東千尋 ● 詩部門・入選 平湯千里

【全国高等学校ビブリオバトル2014 九州・山口大会】

● 準優勝 青柳のぞみ

百人一首部

【第29回全国高等学校総合文化祭・第19回福岡県高等学校小倉百人一首かるた大会】

- 10月19日・福岡市 ● 無段者の部・優勝 山岡祐貴 ● 準優勝 鳥嶋佳奈

【第29回宇美八幡宮小倉百人一首かるた大会】

- 11月3日・福岡県 ● C級準優勝 大神佐英・小松美穂 ● D級優勝 山岡祐貴 ● 3位 鳥嶋佳奈

【第4回全国かるた競技長崎大会】

- 11月9日・長崎県 ● C級準優勝 山岡祐貴

【小倉百人一首団体対抗かるた選手権大会】

- 12月14日・福岡市 ● 団体戦B級8位

放送部

【第36回九州高校放送コンテスト】

- 12月17日～19日・宮崎県
- アナウンス部門
 - ・重松理沙・光武由菜 決勝進出
 - ・都谷知佳 準決勝進出
- 朗読部門
 - ・細野阿希・宮浦寧彰 準決勝進出

コーラス部

【第69回九州合唱コンクール】

- 9月12日・大分県 ● 銀賞

吹奏楽部

【第43回福岡アンサンブルコンテスト】

- 12月13日・大野城市 ● 銀賞

琴曲部・宗教部

【第29回福岡県高等学校総合文化祭・第17回日本音楽専門部福岡県大会】

- 11月8日・久留米市
- 琴曲の部・優秀賞
- 雅楽の部・優秀賞

書道部

【第29回福岡県高等学校総合文化祭】

- 福岡県書道大会
- 創作部門・秀作 堀田結加

美術部

【第29回福岡県高等学校総合文化祭】

- デザイン部門・奨励賞 藤井咲良

美術部

【第29回福岡県高等学校総合文化祭】

- デザイン部門・奨励賞 藤井咲良

英語部

【第62回青嵐杯高校生英語スピーチコンテスト】

- 10月19日・北九州市

【第8回全日本高校模擬国連大会(全国大会)】

- 11月15・16日・東京都

【第1回大野城市英語・日本語スピーチコンテスト】

- 12月14日・大野城市 ● 審査員特別賞 渡邊梨那

陸上部

【第36回福岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会】

- 9月20日・21日・福岡市
- 七種競技・1位 内田まどか
- 200m・2位 田代純子・3位 柳亜里咲
- 100m・3位 田代純子 ● 走幅跳・3位 下川万里奈
- 4×400mR・2位 (柳、田代、井出、下川)
- 4×100mR・2位 (内田、柳、下川、田代) ● 総合・2位

【第30回日本ジュニア陸上競技選手権大会・第8回日本ユース陸上競技選手権大会】

- 10月3日～5日・愛知 ● 200m・5位 上野希

空手部

【福岡県高等学校空手道新人大会】

- 10月18日・19日・久留米市 ● 女子団体組手・3位



【大学&短期大学部】
OGと上司に何う「筑女生のこと」

就職の筑女

The Success Story of Finding Work

vol. 30

本学卒業生をご採用いただいている企業へ何うこのコーナー。今回は、広域展開型金融グループ「ふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)」の翼である「ふくおか証券株式会社」で活躍中の本学OG、中壽賀郁名さんと上司の塩田総一郎さんにお話を伺いました。

ふくおか証券株式会社 春日原支店 営業課 主務

なかすが 郁名 中壽賀 郁名さんの巻



アジア文化学科を平成25年に卒業した中壽賀さん。「筑女卒の方や、お孫さんが筑女に通われているお客様も多く、そんな方々とは話が弾みます。ご年配のお客様とは、たまに仏教の話もするんですよ」

ガムラン部で身についた
コミュニケーション力

「配属後すぐに新規取引を獲得した期待の新人」という情報から想像していた中壽賀さんは、バリエーションが豊富な証券ウーマン1年生。ところが現れたのは、相手をおんわりとした気持ちにさせる雰囲気とは、はにかみながら話す笑顔が印象的な人でした。

「お取引をいただけたのは、『初めてなんだけど、株ってどうしたら買えるの?』というお電話がきっかけでした。たまたまなんです。でも、その後のお付き合いの中で、株価が下がって心配された際、情報のご提供やご案内をしていたら、『あなたが言うんだったら信じる』と喜んでくださった時は嬉しくて。様々な職業、年代のお客様にいろいろ教えていただきながらコミュニケーションを深められる仕事にやりがいを感じています」と中壽賀さん。筑女のガムラン部が定期的に九州国立博物館で開催しているワークショップで来館者を指導し、ともに演奏していた経験が活かしていると語ります。

一人ひとりのお客様に
喜んでいただけるご提案を

入社試験の勝因を尋ねると「支店長が『学生さんは、みんな同じことを言うよね。自分の言葉で自分を語ればいいの』とおっしゃることがあります。そんな想いから『こんな人間です!』とアピールした私を評価してくださったのかも。大手証券会社からの内定にも迷わず、この会社を選びました」とニコリ。その理由は、今の目標とも繋がっています。

「大手では来店された方にお客様番号を尋ねていましたが、ふくおか証券は、お名前でお声掛けしていただきます。今、私が目標としている先輩も、一度の電話でお客様を覚えてしまう方。心から尊敬しています」

そう語る中壽賀さん自身、約400名のお客様を担当し、多い日は100人の方と電話や店頭で接する毎日とのこと。穏やかな表情の内に秘められた仕事への意欲が感じられました。「相談するなら、この人」と思ってお客様が、日に日に増えることで

上司の方に
伺いました

お客様の喜びを、自分の喜びとし、「あなたのいちばんに。」

弊社は、「お客様起点」。お客様の心を開く資質と自分の考えや言葉を持つ人財を求めています。



支店長 塩田総一郎さん
「弊社商品だけでなく、資産をトータルで判断し、お客様をサポートしたい」と塩田さん。

以前は総務人事部にいたので、初めて中壽賀さんに会ったのは、採用試験の面接の時でした。応募者の中で、物事に対する考えや、入社してやりたいこと、学生時代の経験を自分の言葉ではっきりと語っていた彼女が、特に目立っていたことを覚えていて。配属されてから、教育担当の先輩に相談しつつ、自分の意見を持って前向きに仕事へ取り組んでくれています。そういう姿が好印象なのでしょう、お客様の方から声をかけていただき、充実した仕事をしているようです。

もちろん、私どもは証券のプロとして豊富な知識が不可欠です。その上で、FFGの「あなたのいちばんに。」というブランドスローガンを実現するために、「あなたでいい」ではなく、「あなたがいい」と、一番信頼される存在でなければなりません。よって、採用の段階でも、仕事への意欲とともに、幅広い話題や自己表現力がポイントに。それがなければお客様と会話にならず、心を聞いていただくこ

今回の登場企業

【今回の登場企業】

- 社名: ふくおか証券株式会社
- 加入協会: 日本証券業協会
- 設立: 昭和19年7月7日
- 資本金: 21億9,998万円
- 店舗数: 15店舗(他出張所2)
- 従業員数: 211名(平成26年4月1日)
- 平成26年度新卒者採用実績: 10名



しかのめぐみ ● 中学 高校と筑女で学ぶ姉の活き活きとした姿を見て筑女へ。
2011平成23年に卒業し、現役で佐賀大学医学部に進学。
現在は、来年度から始まる実習への開門となる試験に向けて、さらに意欲を燃やしている。

中高OGが語る「私の夢への歩き方」

Vol. 03

進学 筑女

How To Realize My Dream

高校生活の中で目標を見つけ、次のステージへと巣立っていく筑女生たち。このコーナーでは、現在に繋がる筑女時代のターニングポイントや思い出、そして大学での学び、今後への想いなどをOGの皆さんに伺います。

佐賀大学 医学部 4年
鹿野 恵さんの場合

患者さんとの距離が近い医師を目指して…

叔母を見送って
芽生えた夢が目標に

「医 療関係の道に…」と
いう漠然とした夢
が、鹿野さんの中で「医師」と
いう明確な目標に変わったの
は高校2年生の終わり頃。
彼女の背中を押したのは、ご
両親の言葉でした。

両親の言葉でした。

「学力も医療に携わる責任感にも自信がなくて、向いていないのでは、と悩んでいたから、『やりたいのなら挑戦してみればいい。もし、向いていないと分かったら、医学部を出た後、また別の大学に行くこともできるんだから』と

言ってくれたんです。それで、中学2年生の時に叔母を亡くしたことで芽生えた医療への想いを原動力に医学部へ。今は総合医を目指しています」

筑女で身につけた
発言する力を活かして

基礎的な分野を終えた
現在は、佐賀大学が
国内で初めて導入したPBL
[問題解決型学習]の段階
とのこと。「症例をもとに学
生同士で所見を述べ合う機
会も多いのですが、筑女で自
分の意見を言えるようにな

ることで、さらなる意欲へと繋がることでしょうか。

れたことが活きています。筑女といえば先日、佐賀大医学部の1年生から4年生の筑女OG8人で食事をしました。その名も「CJ会」。同窓生との繋がりがあるので何かと安心なんです」と
楽しい話してくれました。

そんな鹿野さんが目指すのは、言葉にならない症状も見逃さずに診ることのできる「患者との距離が近い医師」。一人ひとりに合った治療法を見出し、いく医学にやりがいを感じています。そして来年からは実習へ。その日々が、さらなる意欲へと繋がることでしょうか。

ることで、さらなる意欲へと繋がることでしょうか。

私の歩み

子ども時代

男子に混ざって走り回る毎日。だから、年中、真っ黒に日焼けしている女の子でした。

小学時代

この頃から算数が大好きなリケジョに。将来の夢は、「ドラえもん」を作ることでした。



中学時代

楽しそうに学校へ通う姉の後を追って筑女へ。正直なところ、あまり勉強はしていなかったけれど、成績は上の下くらいをキープしていました。一番好きな科目は英語で、伊坂幸太郎の小説に夢中になったのもこの頃です。



高校時代

まわりが勉強するようになったことに刺激を受けて、机に向かう時間が増えました。ただし、最初はグンと成績が上がったものの、スランプに…。でも、3年次に復活し、今の大学へ!

現在

3年次から臓器別に学ぶカリキュラムに。叔母が口にしてた不調が胃がんのサインだったことを先日の消化器の授業で知り、「周囲の人の変調に気づけるようになりたい」と改めて思いました。あと2年、しっかり勉強します!

もう少し聞かせてください!

鹿野さんへの「一問一答」

ON & OFF

Q 座右の銘は?

A 「道は一つじゃない」

ゴールに向かう道は色々あるという考え方が好き。筑女時代に好きだった数学にも、医療にも通じることだと思います。

Q リフレッシュ法は?

A 弓を引くこと

大学で弓道部に。2年次はテストラッシュだったので、モヤモヤした時は弓を引いて気持ちを整えていました。



Q 尊敬する人は?

A 筑女の先輩でもある姉

姉は自分が決めた目標に向かって、しっかり計画を立てて頑張れる人。いつも助けてもらっています。進路に悩んだ時も相談しました。

Q 後輩へのアドバイスは?

A 遊びと勉強のメリハリを!

自分の反省から言えるのは、「今日は遊ぶ!」「今日は勉強!」というメリハリが大事だということ。ダラダラと勉強したことは頭に残りません。大変だろうけれど、頑張ってください!

幼稚園 presents

子育て “ほっと” コラム

vol.3

Be Happy,
With
Child-Rearing!

～幼児期のお子さんとの上手な向き合い方～

今回のテーマ

自然の中で伸びる力について

～親子で自然を楽しみ、子どもを育む遊び方は?～

人間形成において大事な幼児期。思わぬことの連続で、ご心配の保護者もいらっしゃることでしょう。ここではそんな心配や不安を吹き飛ばし、“ほっと”していただけるようなお話をお届けします。

今回のお話当番



片岸 祐子 教諭

本学園の短期大学幼児教育科を
経て2005年より現職。

未知の世界に踏み出す きっかけを与えて お子さんと一緒に

「自然の中で遊ばせたいのですが、どういうふうに関手をしたらいのかわかりません。」

未知の世界に踏み出すためには、成長するほど大きな力が必要になってきます。自然の中で伸び伸びと遊んでほしいと思っても、「さあ、遊んでらっしゃい」では、逆に引いてしまうお子さんもいることでしょう。園地のすぐ横にある森で日常的に遊んでいる当園の子どもたちは、森に入った途端に「ワァー」と歓声を上げて走り出すのですが、オープンキャンパスに来たお子さんは、お母さんのスカートを押さえて動けない。といった光景も珍しくありません。自然の中で遊んだ経験が少ないお子さんにとって、森は未知の世界。好奇心と同時に恐怖も感じる場所なのです。

そんな時、私たちが「コトヨコトヨ〜!」とくすぐると、子どもは「キャッ!」と逃げ、自然に鬼ごっこが始まることに。あるいは「まずは先生から〜!」と遊びをやってみせたりもします。そんな感じで、構えずに一歩目が踏み出せるきっかけを作っておいてあげたいでしょう。

開放感が勇気に、 そして伸びる力へ

「そもそも、自然の中で遊ぶと、どういう好影響が?」

例えば、泥遊びで汚れるのを嫌がるお子さんがいます。一方、ぬかるんだ泥の中を転げまわってはしゃぐお子さんも。もちろん、遊びとはいえず衛生面などから限度を知ることが大切なので、「あらら、お尻からバイキンさんが入るよ〜!」と、ある程度でストップをかけるのですが、「あ、何だか温かい! 温泉みたいだよ」と言いながら素足で泥を踏む私たちの楽しげな様子に、汚れるのを嫌がっていたお子さんが「やってみたい!」と、



言い始めることがあります。それは、気持ちの殻を破ることができた瞬間なのです。自然の中で気持ち解放されると行動も変化するもの。「こうしてみたい!」という想いは前進する勇氣になり、そして、自然を相手に何かができた経験が自信になり、子どもたちは、更に伸びる力を増すのです。

ただし、自然の中の遊びは、傍にいる大人が危険な部分を知っていることが大事です。まずはやってみて、難しい所や怖がりそうな所を把握しておきましょう。また、お子さんの身体能力や性格に応じて、「一緒にやってみよう」「落っこちても、ちゃんと支えてあげるから大丈夫」「次は一人でできるかな?」と段階を踏んで、少しずつ自信をつけてあげてください。

寄稿
奇連

親子で読みたい!
こころに響く絵本

3

親子で一緒に過ごせる 貴重な時間を大切に



板阪 幸恵さん
(幼稚園/悠聖くんのお母さん)

私 にとつて絵本は、子育てと切り離せないものです。現在年少組の悠聖の姉のとき、しばらく読み聞かせを続けるうちに、まだ言葉での意思疎通が出来ない長女が、毎回同じページで笑うことに気づき、「赤ちゃんでも分かるんだ」と私も絵本を読むことが楽しくなつて、絵本の世界が広がっていったことを昨日のことのように覚えてます。

悠聖は、ほぼ毎日園から絵本を借りて帰ってきます。ところが、借りてくる絵本は、毎回同じものばかり。そのうえ、ほとんどが家にある絵本なのです。最近のお気に入りには「きよだいな きよだいな」で、私はうんざりしながら読むのですが(笑)、悠聖は毎ページに出てくる「きつね」がどこにいるのかを探るのがブームになっていて、本当に飽きることなく毎回「きつね探し」に夢中です。ページを開くことに可愛らしいきつねがどこかに隠れていて、親子で楽しめる1冊ですよ!

親子で絵本を通して一緒に過ごす時間は、今しか共有することの出来ない貴重な時間。思い通りにならない子育てですが、かけがえないこの瞬間を大切に、これからも親子で絵本を読んでいきたいと思えます。



「きよだいな きよだいな」

●長谷川 暎子 作/降矢なな 絵 福音館書店刊

筑女OG & 職員からのメッセージ



vol. 12

卒業生からの 卒業生 手紙

感謝と感動を

たくさんシェアしてください

筑女の校訓と繋がる
本行のスローガン

姫野知美さん(大学OG/大分銀行別府支店)

大学を卒業して早6年、その間に、就職、転職、結婚、また転職と私を取り巻く環境は日まぐるしく変わり、これまでを振り返る時間は少なくなっていました。今回の機会をいただき、駆け足で走ってきた6年間で振り返り、また新たな一歩を踏み出したいと思っています。

私は今、大分銀行の別府支店に勤務しています。学生時代に強く思っていたことは、「地元の大分で就職したい」として「幅広い年齢層の方と接する仕事がしたい」ということでした。今、その二つの願いが叶う職場で働いています。新入行員は、窓口業務からスタートしました。当時、融資係担当の先輩の姿に憧れを抱き、融資係を熱望。2年目には融資係となり、4年目には得意先係も担当し、個人のお客様を中心に資産運用商品の販売を推進しました。さらに業務の幅を広げるため、法人営業に興味を持ち、何事にもチャレンジしたいとの気持ちから、行内で初めて募集された「女性の法人営業」に応募し、2倍以上の応募者の中から8人が採用され、現在は「女性法人営業」として業務を担当しています。今思うと、一つひとつの業務が次に繋がるステップになり、その時々に出会った一人ひとりの先輩や同僚、お客様が私に感謝と感動の気持ちを与えてくれました。いつも思うのですが、筑女の校訓である「自律・和平・感恩」と、大分銀行のスローガンである「感動を、シェアしたい。」は通

じるところがあると思っています。ともに、心が動くこと、そして一人ではなく誰かと一緒に心が温かくなることだと感じています。おそらく信頼関係はその上に築かれるものだと思います。

体験こそが何よりの勉強だったと実感

学生時代は、ありのままの信頼関係が築ける時です。私は、2年間寮生活を送り、2人部屋ということもあり他県の友人がたくさん出来ました。他県の方言や風土を実感し、とても有意義な寮生活でした。また、共生

姫野さんの思い出の
思い出の
1枚



茶道部表千家に所属。新春の盃開きの一コマ(左が姫野さん)。



上段右から2番目が姫野さん。

【Profile】 ひめの・ともみ(旧姓:倉田)
●2009(平成21)年日本語・日本文学卒業。卒業後、大分銀行に入行し、ここからえ支店、玖珠支店を経て、現在別府支店に勤務。「事業性融資に携わる女性得意先係の1期生」に選ばれる。

活する上でのルールやマナー、挨拶など、礼儀作法を学ぶことは今でも役に立っています。学生時代に、知らないことでも積極的にチャレンジして、たくさん感動する体験をしてほしいです。経験こそが何よりの勉強となり、感動が人生を豊かにするものだということを是非シェアしていただきたいです。

支えびとさん、登場!

vol. 9

日々目覚ましく成長していく
生徒の姿は嬉しいものです

武田陽子さん(中学校・高校/購買部)

「オハヨウゴザイマス!!」という元気な生徒さん達の声を迎えることから購買部の一日の仕事が始まります。夏はまだ良いのですが、冬はうす暗い中登校してくる姿を毎日毎日横目に見て、本当に感心だなと思いつつ、私達も購買部の販売の準備を手早く進めていきます。

毎年、4月には目をキラキラ輝かせながら、またちよつと不安そうな表情で登校してくる新1年生をたくさん迎え、喜々とした様子でノートやパン、飲み物などを購入していく姿は、本当にほのほのとした一面を見せてくれて、こちらもホッと嬉しくなるものです。多くの生徒達との言葉のキャッチボールを楽しみながら、また、事ある毎に、ガンバレ!頑張つてね!と励ましながら、日々目覚ましく成長していく姿を見る事ができるのは、本当に素晴らしいものですね。これからも、ますます皆様に愛される購買部を目指してスタッフ一同頑張つていきたいと思っています。



6人のスタッフで、皆さんをお待ちしています!



CJ

注目の学園ニュース

ホットピックス

大学

地域に愛される大学を目指して
学生の若さと知識を生かした地域連携活動

研究ゼミナールやサークル・部活動など授業の枠を超えて…

筑 紫女学園大学のキャンパスがある太宰府市は、多くの大学や短期大学が集まる「文教都市」と呼ばれています。大学は地域社会の中に存在し、地域の方のご協力、ご理解に支えられて

成り立っています。大学の知的財産を地域社会に還元することは、大学の大切な役割です。近年、地域の方から学生との交流を望む声も多く、地域活性化のために学生の若さと知識が必要とされています。学生にとっても世代を超えた交流の機会を、授業の枠を超えて多くのご協力を学ぶ貴重な経験の場となります。

本大学は、太宰府市内にある8校の大学短期大学と太宰府市が連携し、魅力ある地域社会を目指して設立された「太宰府キャンパスネットワーク会議」への参加をはじめ、研究ゼミナール、サークル活動、部活動を通して、様々な地域連携活動を実施しています。

地域の方々と学生の双方がWin-Winの関係になれるように

人 間科学部社会福祉コースの山崎ゼミ研究室では、学生が授業の一貫とし



和気藹々とした雰囲気「ママともサロン」。

て地域福祉の視点から太宰府市水城ヶ丘の課題を調査・分析し、改善案について地域住民の方の前でプレゼンテーションを行いました。さらに、地域の方を「人生の先輩先生」としてお招きし、これまでの人生について語っていただく機会も設けています。大学の学園祭では、筑紫野市御笠地区の「みかさ高年クラブ」の皆さんが肉うどん屋を出店され、大盛況でした。



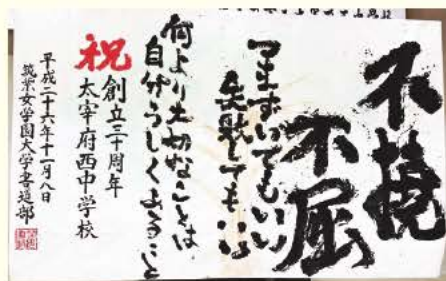
「みかさ高年クラブ」の行列のできる肉うどん屋さん。

サ ークル活動や部活動では、130人以上の学生が地域連携活動に参加しています。湯之谷西自治会で開催される「ママともサロン」に参加している牛島咲里さん（人間科学部幼児保育コース4年）は、「読み聞かせに来てくださるお子さんも赤ちゃんから小学生まで幅広く、お母さんや近所のおじいちゃん、おばあちゃんも参加してくれるので、幅広い年代の方と接することができ



筑女フィルハーモニーの演奏で合唱を披露。

ますが、周りの方が温かく見守ってくれていることを実感します」と話し、敬老会での演奏会に参加した木村織音さん（人間科学部発達臨床心理コース3年）は、「合唱



太宰府西中学校で、見事なパフォーマンスを披露。

を始めると、リズムに合わせて一緒に歌ってくれたり、目を閉じてじっくり聴いてくれたり、喜んでいただけたり、目がうれしかったです。世代が離れた方たちとも楽しく話せたことが新たな発見で、とても新鮮でした」と話していました。書道部は、太宰府西中学校の創立30周年式典で書道パフォーマンスを実施し、中学生に熱いメッセージを送りました。

学生にとって地域社会は「生きた学びの場」であり、地域の方にとって大学は「地域の活性化に必要な存在」となり、お互いにとって価値のある存在となることを目指して、今後も継続した地道な活動を続けていきます。

詳しくはウェブで!

各校・幼稚園のウェブサイトに「CJフォトピックス」で紹介した情報の詳細を掲載しております。そちらも併せてご覧ください。



「CJ COMMONS」オープン
9月19日、4号館図書館をリニューアルし、図書館機能に学習支援機能を兼ね揃えた「シーエコーモンズ」がオープンしました。



9月卒業式

9月25日、9月卒業式を執り行い、15名の卒業生が筑女を巣立っていきました。



ドス・ソピアップさん講演会

9月30日、カンボジア地雷被害者の女子大生をお招きして、パネルディスカッション形式の講演会を開催しました。



「模擬保育室」オープン

10月1日、1号館に模擬保育室「ミラのひろば」がオープン。『ミラ』とは、サンスクリット語で「友だち」「友情」を意味します。



就職ガイダンス

10月19日、企業の人事担当者と内定獲得学生によるパネルディスカッション「保護者と学生のための就職ガイダンス」を開催しました。



第49回筑紫祭

10月25日・26日、筑紫祭を開催し、およそ3,000名にご来場いただき大盛況のうちに幕を閉じました。



書道部パフォーマンス

11月8日、太宰府西中学校の創立30周年式典で、書道部が太宰府市民吹奏楽団とのコラボによるパフォーマンスを行いました。



新学部開設記念公開講座

12月6日・13日、アクロス福岡において、現代社会学部の開設を記念した公開講座「現代社会を生きる力」が開催されました。



バドミントン選手権大会優勝

12月13日・14日、社会福祉コース豊田まみ子さんが、日本障害者バドミントン選手権大会のシングルスとダブルスで2冠を達成しました。



筑女フィル定期演奏会

12月24日、大野城まどかびあホールにおいて、第8回定期演奏会を開催しました。11年目の新たなスタートになりました。

Webサイト情報

●大学

<http://www.chikushi.ac.jp/english/univ/>

英語サイトの ご案内



◀こちらからも
アクセスできます



▶ 今後の予定 【 大学・短期大学部 】

日程	開催内容	開催場所
2月13日(金)	一般入試、社会人入試、外国人留学生入試、学内進学入試(院)	太宰府キャンパス
2月13日(金)	編入学試験(大)、社会人特別入試(大)	太宰府キャンパス
2月28日(土)	一般入試(後期日程)(大)	太宰府キャンパス

日程	開催内容	開催場所
3月12日(木)	卒業式(短)	太宰府キャンパス
3月13日(金)	修了式(院) 卒業式(大)	太宰府キャンパス
4月6日(月)	入学式	福岡国際会議場
5月下旬	キャンパス説明会	太宰府キャンパス
7月~9月	オープンキャンパス	太宰府キャンパス



写真で見る筑女生の「今」

CJ フォトピックス

高等学校・中学校



High School
Junior High School

母校で成人式
1月11日、講堂にて同窓会を兼ねたオリジナルの成人式を行いました。新成人の卒業生と教員、約180名が集まりました。



芸術鑑賞会

10月7日、全校生徒を対象に講堂にて、太鼓演奏グループ「DRUM TAO」によるパフォーマンスを鑑賞しました。



中学校体育祭

10月16日、九電記念体育館にて「VIVA!CJ!～新たな歴史 熱き伝説～」のテーマのもと体育祭を開催しました。



中学校学校紹介・見学会

10月25日・11月15日、学校生活や学習についての説明や、施設・部活動見学など生徒がガイド役となって行いました。



職業を知ろう講演会

11月1日、中学2年生を対象に開催し、「看護師」、「飼育員」ほか、さまざまな分野で活躍の方々にご協力いただきました。



万引き防止キャンペーン

11月5日、天神パサージュ広場にて福岡県警主催の「万引き防止キャンペーン」に参加しました。元高見盛の振分親方のお話とともに打楽器三重奏やポップスを演奏しました。



日本茶オビニオンリーダー養成講座

11月28日、「お茶の文化」について基本的な知識を身につけ、初歩的な煎茶の淹れ方、抹茶の点て方を体験しました。



CHIKUJO de NIGHT説明会

11月下旬の5日間、本校の受験をお考えの小学生、中学生とその保護者を対象に夜の説明会を行いました。



高校修学旅行

12月8日～12日、高校2年生が4つのコース（東北・関東、関西、シンガポール、ハワイ）に分かれて修学旅行へ行きました。



中学校弁論・コーラスコンクール

12月18日、講堂にて弁論コーラスコンクールを開催し、各クラスの代表者による弁論、全クラスによる合唱をおこないました。

Webサイト情報

● 高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/english/h/index.php>

● 中学・高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/english/j/index.php>

【英語サイトのご案内】

【高等学校】



▲こちらからもアクセスできます

【中学校】



▲こちらからもアクセスできます

▶ 今後の予定 【 高等学校・中学校 】

日程	開催内容	開催場所
2月 6日(金)	高校 前期入試	警固キャンパス
2月14日(土)	高校 後期入試	警固キャンパス
3月 3日(火)	高校 卒業式	警固キャンパス
3月4日(水)～11日(水)	中学校 語学海外研修	オーストラリア
3月5日(木)～12日(木)		
3月11日(水)・12日(木)	高校クラスマッチ	警固キャンパス

日程	開催内容	開催場所
3月17日(火)	修了式・終業式	警固キャンパス
4月 8日(水)	入学式	警固キャンパス
4月中旬	中高一貫生オリエンテーション	警固キャンパス
4月下旬	中学校 新入生研修	福岡県立藤葉 社会教育総合センター
5月下旬	紫苑祭	警固キャンパス



運動会
10月4日、ときどきわくわくの運動会。保護者の方や大学からもボランティアで学生さんお手伝いに来ていただきました。



オープンキャンパス

9月13日、かわいいお友達が、たくさん遊びにきてくれました。どんぐりを見つけたり、体操をしたり、ミニ保育も体験してもらいました。



年少 親子泥だんご作り

10月18日、普段子ども達が楽しんでいる泥だんご作りに保護者の方も夢中になって、それぞれ素敵な泥だんごができていました!

写真で見る筑女生的「今」
CJ フォトピックス

幼稚園



Kindergarten



年中 栗ごはんパーティー
10月21日、栗の香りがしみ込んだご飯を味わい、栗が苦手だった子どもも思わず食べてしまうほど美味しい栗ご飯でした。



年長 稲刈り
10月21日、今まで大事に育ててきた稲が実り、今年は豊作となりました。自分の稲を自分の手で刈った子ども達は満足でした。



秋の遠足
10月24日、バスに乗って小戸公園に行きました。どんぐりやまつぼっくりを袋いっぱい拾い、大喜びの子どもたちでした。



年中 焼き芋パーティー

11月7日、親子で焼き芋パーティーをしました。焚き火の温かさに包まれて、秋の実りをみんなで味わいました。



年中 発表会

12月6日、お気に入りの絵本を題材にして楽しく劇を発表し、最後は全クラス一緒に歌も披露しました。



年長 発表会

12月13日、お客さんを意識して役の演技方を考えたり、劇に使う道具もクラスみんなで協力して作り上げました。



もちつき

12月20日、保護者の方にもお手伝いをいただき、みんなでつくったおもちを丸め、きな粉もちにしてお腹いっぱい食べました。

Webサイト情報

●幼稚園

<http://www.chikushi.ac.jp/english/knd/index.php>

英語サイトの
ご案内



こちらからも
アクセスできます

▶ 今後の予定 【幼稚園】

日程	開催内容	開催場所
2月 2日(月)	運動会	幼稚園
2月 7日(土)	年少劇あそび会	幼稚園
2月19日(木)	ミニコンサート	幼稚園
3月 4日(水)	おわかれパーティー	幼稚園
3月12日(木)	卒園式	幼稚園

日程	開催内容	開催場所
3月13日(金)	終園式	幼稚園
4月上旬	始園式	幼稚園
4月上旬	入園式	幼稚園
4月~5月	歓迎遠足	未定
5月予定	オープンキャンパス	幼稚園



グローバルな視点を養う高校生たち

います。今回はその中から6名のレポートを掲載。こととは？



東南アジア
交流

西川 京華さん(高校1年)



将来の希望が見えてきた充実の9日間

福

岡の各学校から集まった高校生60人は、アジア派遣団として台湾とベトナムを訪問しました。台湾では、日本人の留学生の話の聞いたり、多くの屋台が並んでいる夜市に行ったりしました。台湾の人たちはフレンドリーで、町もとても活気がある印象を受けました。ベトナムでは、ベトナム戦争の博物館を訪問したり、伝統的な人形水上劇を見たり、様々な場所を見学しました。ホームステイでは、ドウさんという同じ年の女の子の家に泊まりました。英語は苦手なので、あまりしゃべれませんでした。家族や親戚の皆さんも親切でフレンドリーで、ベトナムの文化や習慣が分かった充実したホームステイでした。台湾やベトナムは、初めて行く国だったので、文化や習慣や食べ物が違い、戸惑いもありましたが多くの人の支えで充実した、そして自分が成長できたアジア派遣となりました。そして、このことがきっかけで異国にとっても興味を持ちました。将来、外国に関わる仕事がしたいです。

【福岡県私立高校生徒アジア派遣研修事業】

近隣アジアの大使館訪問や現地ホームステイ等を通して、国際交流を図り、国際的視野を養う。

●期間：2014年8月2日～10日 ●場所：台湾、ベトナム ●主催：私学協会

「自ら行動すること」の大切さに気づかされた2週間

リ

ーダー塾に参加して、「自分から行動すること」そして、「たくさんの物事に興味を持つこと」の大切さに気づかされました。「自分から行動すること」は簡単に聞こえますが私はなかなか実行することができませんでした。特に、自分から意見を言うことは、私の一番の課題でした。言いたいことが言えず、自分にイライラしたり、周りに置いていかれるという焦りも感じ、何度も悔しい思いをしました。しかし、この悔しさのおかげで、成長できたと思います。

また、参加して一番痛感したのは、「自分の知識のなさ」です。日本のことでさえ分からないことがあり、日頃から新聞やニュース、本を読み、たくさんの物事に興味を持ち、調べ、知識を蓄えることが大事だと思いました。私は、リーダー塾に参加して、何事にも恐れぬ気持ちや強い意志、そして何よりたくさんの同世代の仲間を得ることができました。このリーダー塾の2週間は、かけがえのない大切な経験になりました。



植山 瑤子さん(高校1年)

次世代リーダー
養成塾



山口 珠生さん(高校1年)



「失敗を次にどう活かすか」を考えられる自分に

私

はリーダー塾で「失敗することの大切さ」を学び、「失敗を次にどう活かすか」を考えられるようになりました。今まで学校では、自分から意見を言うのは苦手でした。リーダー塾では、たくさん意見を言う場があり、最初は不安でした。そんな自分だからこそ挑戦をして、そこで失敗することを経験するとともに、自分の未熟さを知りました。

そして、講義を聞き、周りを見ているうちに自分の足りなかったところを考え、「周りを見て良いところを盗もう!」と考えられる自分かいました。リーダー塾に来なかったら、きっと失敗をする経験も自分からはしないだろうし、その失敗を次にどう活かすかなんて考えられるようにはなっていないはず。リーダー塾は、リーダーになるという目標に向かって、みんなが同じスタートラインに立つための場所だと感じました。私はリーダー塾での経験を活かして、これからの高校生活、そして人生に役立てていきたいです。

【日本の次世代リーダー養成塾】

日本のみならず世界各国に貢献できる人づくりに寄与するため、世界を代表する講師陣が2週間に渡り、リーダーを志す若人と議論を深める。

●期間：2014年7月25日～8月7日 ●場所：福岡県宗像市 ●主催：日本の次世代リーダー養成塾

スペシャルピックアップ
高校

新しい自分に出会ってきました!

学外研修でグローバル

昨年、本校の高校生たちの中には、さまざまな「学外研修」に参加してきた生徒が大勢
国内はもとより海外までも足を運び、自らの意志で想いを実現させた彼女たちが感じた

ベトナム
植林体験



山本 阿美さん(高校3年)



一人ひとは微力かもしれないけれど 無力ではないことを実感

ベトナムでの植林体験、その体験に踏み出すきっかけは、一つの後悔からでした。高校1年の時に、アメリカに行く機会がありましたが、不安と自信のなさから断念しました。その後悔がきっかけとなり、ハチドリ隊への参加に踏み出すことができました。

植林のために訪問したのは、ベトナムのホーチミンです。ベトナムは国土の44%が森林ですが、ベトナム戦争の際に撒かれた枯れ葉剤によって森林の97%が失われました。そして、住民の努力によって30年かけて回復しました。しかし、エビの養殖によって伐採され、再び失われることになります。ベトナムで養殖されたエビの3割を日本人が食べています。エビフライやお寿司、普段私たちが食べているエビがマングローブを伐採しているのです。

今回、一本一本、木を植えて感じたことは、「一人ひとりの力は微力かもしれないけれど、無力ではない」ということです。本当に小さなことでも、環境は私たちの手で回復できるということを実感しました。

【西日本新聞ハチドリ隊】

九州の中高校生に環境問題への理解を深めてもらうために西日本新聞社が行っている緑化事業。中国ではポプラを、ベトナムではマングローブを植林している。

●期間:2014年8月4日～8月8日 ●場所:ベトナム ●主催:西日本新聞社

「伝える」という行為の大切さと笑顔の力を学びました

「伝えること」今まで考えたこともなかったこのテーマについて、この研修では取り組みました。しかも、英語での研修でした。

「伝える」ために必要なこととして、①「誰かに伝えたい」と思うコンテンツを持っているか②それを伝える熱意があるか③話を相手に分かりやすくするための論理性、構成力があるかの3つが挙げられていました。話し手がこの条件を満たしていても、聞き手に聞こえようとする意志がなかったら、伝えようとして

も相手には伝わらない。コミュニケーションは、双方向の作業であり、話し手と聞き手がお互いにそれぞれの役割を果たすことが、最も大切だということを学びました。

そして、伝えたいけれど上手く伝えられないもどかしさ、悔しさから、もっと英語を上達させたいと強く思いました。私が話すときに一番大切にしていること、それは笑顔です。お互いが気持ちよくコミュニケーションが取れるように、また自分が伝えるという行為で人を笑顔にしたいと思っています。



森 美月さん(高校3年)

知の
創造塾

【ふくおか高校生知の創造塾】

知の最先端に触れ、これからの多様性に富む社会において、自ら課題を設定して、科学的に熟考し、課題解決策を創造する力を養う。

●期間:2014年8月17日～19日 ●場所:大分県九重町 ●主催:福岡県教育委員会

ドイツ留学

恥ずかしさの克服と感謝の気持ちを大切にできるようになった留学経験

1 年間のドイツ留学から帰国する時は、「まだ帰国したくない!」と思った私ですが、留学当初はドイツ語も分からず友達もできず、「留学しなければ、こんな辛い思いをしなかったのに」と泣いたこともありました。

最初は、ドイツ語が下手なのが恥ずかしくて、ただ座っているだけだったけれど、これでは何も変わらない!失敗しても間違えても大丈夫!と聞き直れたことがきっかけで、積極的に発言できるようになりました。

また、海外の子供たちは自立していて、責任を持って行動しています。私も自分がやるべきことは何か、先を見据えて物事を考えて、予定やお金の管理をするようになっていました。そして、何事にも感謝をするようになりました。毎朝、母がお弁当を作ってくれることも当たり前ではないことに気づき、今では受け取る時にありがとうございますと言っています。

留学は、語学の取得だけではなく、人それぞれ得るものがあります。留学前と変わること、ぜひ新しい自分に出会ってください。

【ドイツ留学】

YFU (Youth For Understanding) という留学機関による海外留学。YFUは、高校生の交換留学を促進する組織であり、世界60カ国に拠点を持っている。

●期間:2013年8月～2014年7月 ●場所:ドイツ ●主催:YFU



岸上 優香さん(高校2年)



公開講座
レポート
その①「王舎城の悲劇」に学ぶ
人間の惨憺と救いの構造●第21回仏教学研究室公開講義
「ビジュアル〜ブッダの歩んだ道〜④王舎城の悲劇：ラージギル」

10月18日(土)、柳川総合保健福祉センターにおいて、第21回仏教学研究室公開講義「ビジュアル〜ブッダの歩んだ道〜④王舎城の悲劇：ラージギル」を開催しました。講師は、人間科学部講師の宇治和貴先生です。

第4回目である今回のテーマは「王舎城の悲劇」です。王舎城に、アジャセという王子がいました。デーヴァダッタという悪友にそそのかされて、父のピンバシャラ王と母のイダイケを幽閉します。憔悴したイダイケは、お釈迦様に「世尊、どのような罪があつてこのような子を産んだのでしょうか。世尊もどのような因縁があつてデーヴァダッタと親族でい

らっしゃるのでしょうか。私はこのような悪に満ちた世界から抜け出したい」と尋ねます。

実は、アジャセ王子の出生には秘密がありました。ピンバシャラ王とイダイケはなかなか子宝に恵まれませんでした。そこで、占い師に相談したところ、「山に住む仙人が亡くなれば、子どもが産まれる」というお告げをうけます。ところが、子どもが早く欲しい二人は家来に命じて仙人を殺してしまいます。仙人は死ぬ前に「この恨みをお前の子どもが仇を討つ」と予言します。そして、占い師のお告げ通り、子どもが産まれます。しかし、仙人の予言を恐れた、王様夫婦は子どもを城壁から落として殺そうとしましたが、子どもは指



を骨折する怪我だけで助かります。この子どもがアジャセです。そして、この秘密を教えたのがデーヴァダッタで、怒りに満ちたアジャセは父と母を幽閉してしまうのです。これが、王舎城の悲劇です。

宇治先生は、この王舎城の悲劇は史実なのか、王舎城の悲劇に関するジャイナ教資料と比較し、また、親鸞聖人がこの悲劇を重要視されており、人間の惨憺と救いの構造を読み取られたこととお話してくださいました。(大学・文学部英語学科4年 角熊 理歩さん/福岡女子商業高等学校出身)

公開講座
レポート
その②観光とは違う側面から
沖縄を感じることができました●文学と南(1)
「山之口獏生誕111年を語る ④バクさんを唄う・沖縄を唄う」

10月25日(土)、福岡市赤煉瓦文化館において「文学と南(1)―山之口獏生誕111年を語る」を開催しました。「文学と南」というテーマのもと、今年生誕111年を迎える沖縄出身の詩人山之口獏の人と作品について考える講座です。今回は「バクさんを唄う・沖縄を唄う」ということで、沖縄県無形文化財保持者の大工哲弘さんにお越しいただきました。沖縄の伝統楽器三線を弾きながら、獏さんの作品からは「座布団」「会話」

「ためぎ」「鮪に鯛」「歯車」「告別式」「生活の柄」「紙の上」、また、沖縄民謡からは「ていんさぐぬ花」「浜千鳥(沖縄民謡)」「新安里屋ゆんた(八重山民謡)」を唄ってくださいました。

私は、今回の講座で初めて獏さんの詩に触れました。貧しいながらも一生懸命生き抜く力強い姿を感じ、「鮪に鯛」「紙の上」からは「戦争」の悲しさを感じました。大工さんの声は三線の音色と、とてもマッチしていて、心



地よくまるで沖縄にいるかのように感じさせてくれました。

最後は、アンコールで「新安里屋ゆんた」を大工さんと受講者皆さんで唄いました。「観光」ではなく、また違った形で沖縄を感じることができた講座でした。(大学・文学部英語学科4年 角熊 理歩さん/福岡女子商業高等学校出身)

News
Flash!

4月から、筑女の中学校・高校が変わります!

本靴、補助バッグ、カーディガン、ソックスを一新します。本靴はショルダー型とリュック型の2種類から選べます。

さらに、西日本の中学校・高校では初めて「筑女オリジナルnimoca」が誕生します。身分証明書をICカード化し、「nimoca」の機能を掲載した多機能カードになります。

キャラクターの
フェレットが筑女の制服を
着ています!



●ソックス
(夏冬兼用)
●白カーディガン
(夏用)

●紺カーディガン
(冬用)



●本靴
(リュック型)

●本靴
(ショルダー型)



●補助バッグ





学園中期計画「筑女プラン2017」

4年目に向けて進捗状況の検証とローリング作業を実施

平成25年度は全体で70.2%の達成度

「筑女プラン2017」は、2017（平成29）年の創立110周年に向けた5カ年の学園中期計画で、平成24年度からスタートし、今年で3年目となります。今回は、平成25年度の進捗状況および達成度を検証するとともに、平成27年度以降の実施内容を見直すローリング作業を行いました。

各組織における118の施策について、平成25年度の達成度を6段階評価で検証した結果、学園全体では70.2%となり、平成24年度の62.9%より73%上昇しました。

組織間の連携と改革の視点を持った業務推進が課題

【法人本部事務局】

法人本部事務局の達成度は59.4%となり、昨年度の49.7%と比較すると、全体的な進捗状況はやや改善されましたが、順調なプランと遅れの目立つプランの差が見られました。学園全体の組織整備に関わる内容が多いため、これまで以上に各学校と

の連携を緊密にする必要があります。平成26年度からスタートした学園全体の組織改革、および法人本部事務局と大学・短期大学部事務局の組織再編は、今後のプラン推進にとって大きな力になるものと考えています。

【大学・短期大学部】

大学・短期大学部は、前回のローリングに従い47項目から43項目に絞って、重点的に各プランを実行した結果、達成度は82.3%となり、昨年度の74.9%を上回る達成度を確保しました。一方、学外諸機関や学園内各学校との連携、学長のリーダーシップ発揮に向けた体制の検討など、進捗が思わしくない項目も散見されます。来年度は、現代社会学部開設に伴う新たな教学体制のスタートに向け、主体的にプランの実行に努めることが重要課題です。

【中学校・高等学校】

中学校・高等学校は、24項目から23項目に整理した結果、達成度は55.0%から70.4%に改善しました。

「教育」「生徒支援」の項目は、講座、説明会や、新課程

程入試対応の課外授業補講等の充実を図り、「広報・入学定員確保」の項目は、広報活動の機会増加や説明会等の工夫によって成果が見られました。また、より質が高く、機動的な工夫が必要といえます。来年度は、機動的なマネジメントサイクルの意識を根付かせ、改革の視点を持って教育の充実を図っていきます。

【附属幼稚園】

幼稚園の達成度は61.1%となり、昨年の68.4%から減少した結果となりました。「宗教教育」や「教育」、特に「広報・入学定員確保」の項目は、ホームページも日々更新し、達成度は高くなっています。しかし、幼稚園の小規模組織にしては19項目と項目数が多く、幼稚園単独では実現が困難な項目もあり、ローリングによって内容を整理しました。今後は、評価に客観性を持たせるために、数値目標やスケジュール目標の設定に努めていきます。

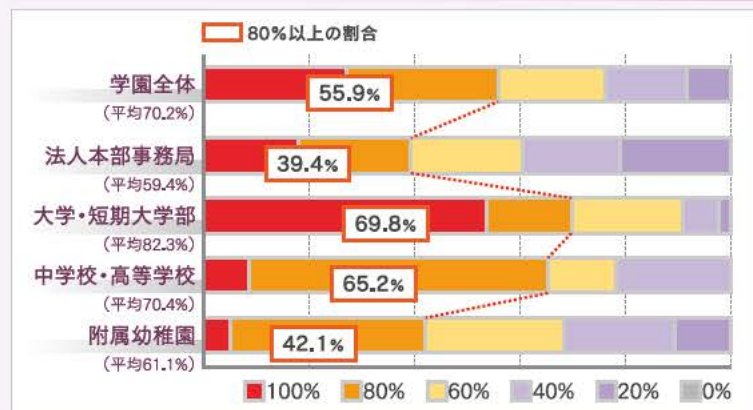
これらの検証結果、ローリングを踏まえ、4年目である平成27年度は、組織間のさらなる連携と、改革の視点を持った業務推進を目指して、各プランの実行を進めていきます。

進捗判断の基準と達成度内訳

達成度	評価指標	昨年度(平成25年度)の達成度内訳
100%	予定していた計画の全てが実施され、成果指標に基づいた検証結果を踏まえて、次年度の計画に着手できる状態。	32施策 ↑ 66施策
80%	予定していた計画がほぼ完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	34施策
60%	予定していた計画の半分以上が完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	24施策
40%	議論・打ち合わせ等の行動に着手し、年度内に予定していた計画の40%程度が完了。	18施策
20%	議論・打ち合わせ等の行動には着手したが、年度内に予定していた計画の20%程度しか完了できていない。	10施策
0%	議論・打ち合わせ等の行動が全く行われていない。	0施策

平均達成度 70.2% 合計 118施策

平成25年度における各組織の達成度



●「筑女プラン2017」は、「1宗教教育」「2女子教育」「3教育」「4園児・生徒・学生支援」「5国際交流」「6研究・研修」「7広報・入学定員確保」「8社会貢献」「9施設・設備」「10管理運営」「11財務」「12新規事業」の12項目を柱に118施策のプランを実施しています。



プレイバック「筑紫女学園2014」

～本学園の“この1年”を振り返りました～

本学園の2014年1月から12月における特筆すべきトピックスをピックアップしたこのコーナー。振り返ればこの1年も、新たな試みや活躍した人々などが続々登場しました。

1月

- 1月12日(高) 同級生や恩師ら約170人が集まった母校でのオリジナル成人式



2月

- 2月1日(幼) 親子で一緒に作った竹馬で披露会
- 2月19日(高) フラガールズ全国きずなキャラバン来校
- 2月20日(大) 57社が集まる学内合同企業説明会
- 2月21日～26日(大・短) 9回目となる東北への震災ボランティア

3月

- 3月5日～12日、3月6日～13日(中) オーストラリアで海外語学研修
- 3月8日・26日(大・短) 人間科学部4年の豊田まみ子さんが、福岡市スポーツ協会表彰、福岡市市民スポーツ賞を受賞
- 3月14日～19日(大・短) 10回目となる東北への震災ボランティア

4月

- 4月9日～10日(大・短) 新入生を歓迎するサークルフェスタ
- 4月18日(幼) よもぎ園子パーティー
- 4月29日(大) 高校生を対象にした大学授業見学会

5月

- 5月1日(幼) たけのこパーティー
- 5月9日(幼) はなまつり
- 5月23日(大) 平成27年開設の「現代社会学部」記者会見



- 5月23日～24日(高・中) 「筑女、それはStage」をテーマに筑紫祭(文化祭)



6月

- 6月8日(高・中) ハワイPBA(パシフィック・プアリスト・アカデミー)との交流協定
- 6月14日(大・短) 第46回紫友会総会
- 6月15日(高・中) 精華会総会
- 6月27日(高・中) オーストラリアセントポール高校の生徒が来校



7月

- 7月6日～21日(大・幼) ニューヨーク州立大学、ハワイ大学、西シドニー大学、中国文化大学、静宜大学、広東省外语芸術職業学院から短期留学生が来校



- 7月4日(高) 九電記念体育館において高校の体育祭
- 7月17日(高) キャンプファイヤーや幼稚園探検など、年長お泊り会
- 7月19日(幼) 父母教師会・国際理解委員会による日本文化体験プログラム
- 7月29日～8月3日(中) 宗像市グローバルアリーナにおいて、中学2年生が2泊3日のサマー語学研修
- 7月30～8月8日(高) オックスフォード大学、パース大学などで、英国研修

8月

- 8月1日～3日(高) 首都圏にある大学のキャンパス見学ツアー
- 8月23日(幼) 夏まつり
- 8月24日(高) 福島県いわき市で開催された「第4回フラガールズ甲子園」に出場
- 8月24日～8月29日(大) 11回目となる東北への震災ボランティア

9月

- 9月6日(幼) 親子で竹の切り出しからはじめるそうめん流し
- 9月7日～9月12日(大・短) 12回目となる東北への震災ボランティア
- 9月19日(大・短) 筑女の新たな図書館の形、「JC COMMONS」がオープン
- 9月30日(大・短) 地雷被害者の女子大学生ドス・ソビアップさんを迎えてパネルディスカッション



10月

- 10月1日(大・短) 模擬保育室「ミトラのひろば」がオープン
- 10月4日(幼) ソーラン節、騎馬戦、かけっこ盛りだくさんの運動会
- 10月7日(高・中) 和太鼓演奏グループ「TAO」によるパフォーマンスLIVE開催
- 10月16日(中) 九電記念体育館において中学校の体育祭
- 10月18日(幼) 竹から切り出す親子で竹馬づくり
- 10月25日～26日(大・短) 第49回筑紫祭(学園祭)



11月

- 11月19日(大・短) 保護者と学生のための就職ガイダンス

12月

- 12月8日～12日(高) 高校修学旅行
- 12月20日(幼) 杵でつく親子でもちつき大会



【凡例】(大)=大学 (短)=短期大学部 (高)=高校 (中)=中学 (幼)=幼稚園

※本誌「CJ Report」掲載記事以外の情報は、学園Webサイトより(<http://www.chikushi.ac.jp>)

筑紫女学園からのお知らせ

人事

就任
短期大学部
幼児教育科
特任講師 三池 静子
(平成26年9月19日付)

理事会・評議員会

平成二十六年九月十日開催 第三十七回理事会において、役員に辞任された後任者が左記のとおり選任されましたので、ここに公告します。
(平成26年9月30日付)

退任

理事・評議員
大塚 捷道
理事・評議員
白山 大慧
(平成26年10月1日付)

おめでとうござります

第56回(平成25年度)
日本印度学仏教学会賞
川尻 洋平
(筑紫女学園大学人間文化研究所)



寄付金

左記のとおり(寄付をいただきました。誌上、御礼)ご報告いたします。
西方寺 様
金額 三〇〇,〇〇〇円
(大学生の東日本大震災ボランティアの活動資金として)

